

仙台空港周辺地域活性化施設 整備運営事業

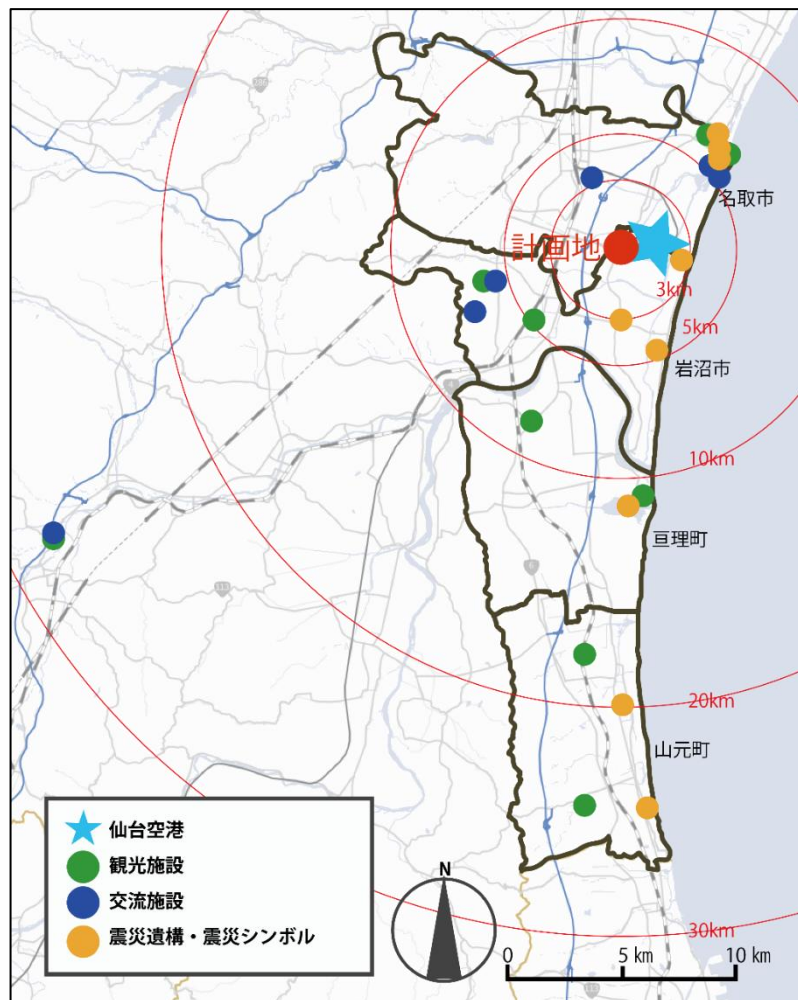
基本計画の概要 説明資料

仙台空港周辺地域活性化施設整備運営事業に係るアンケート調査【宿泊業】
参加企業様 限り

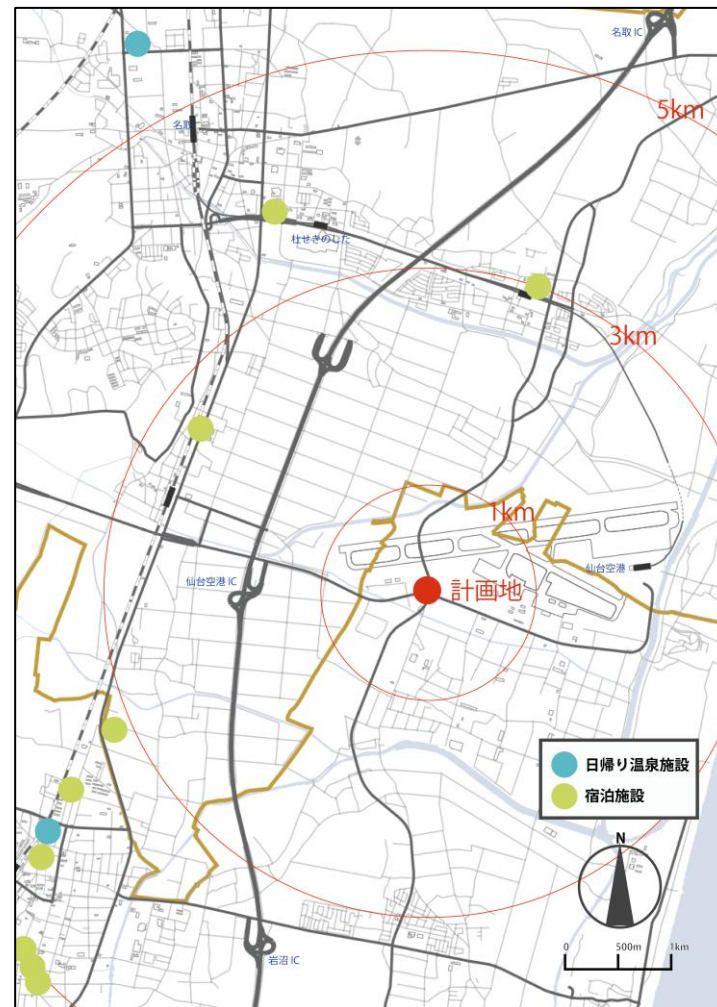
計画地の概要

計画地の概要②

計画地周辺の各施設分布状況は、下図のとおりです。



計画地周辺の施設分布状況(令和8年2月時点)



計画地周辺の日帰り温泉施設・宿泊施設分布状況(令和8年2月時点)

計画地の概要

計画地周辺の特徴①

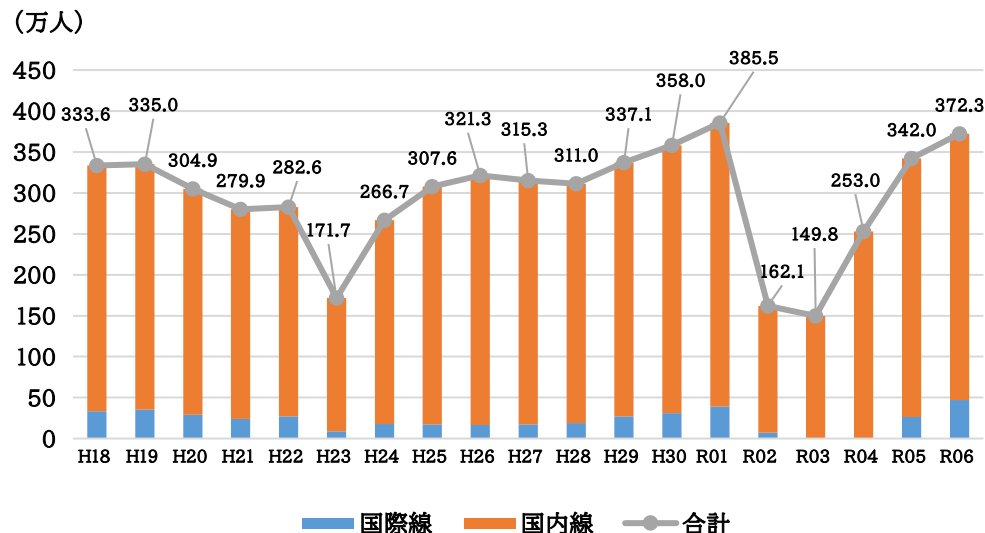
仙台空港は、年間旅客数370万人を超える、**東北最大規模の空港**です。旅客数は、震災等で一時的に減少しましたが、着実に回復し、活発な利用が戻りつつあります。

東北地方の空港乗降客数(令和6年(暦年))

空港名	乗降客数(人)		
	国際線	国内線	合計
仙台	470,066	3,252,676	3,722,742
青森	44,654	1,181,974	1,226,628
三沢	0	336,869	336,869
大館能代	0	194,904	194,904
秋田	33,637	1,211,104	1,244,741
花巻	32,990	445,206	478,196
庄内	462	358,934	359,396
山形	8,509	352,619	361,128
福島	31,812	229,691	261,503

出典:国土交通省「空港管理状況 暦年・年度別空港管理状況調書」

仙台空港の暦年別旅客数(H18~R6)



出典:国土交通省「空港管理状況 暦年・年度別空港管理状況調書」

計画地の概要

計画地周辺の特徴②

計画地の前面道路である、(主)仙台空港線の交通量は、**約20,000台／日**です。
県内の道の駅との比較でも、上位に位置する**高い交通量**を有しています。

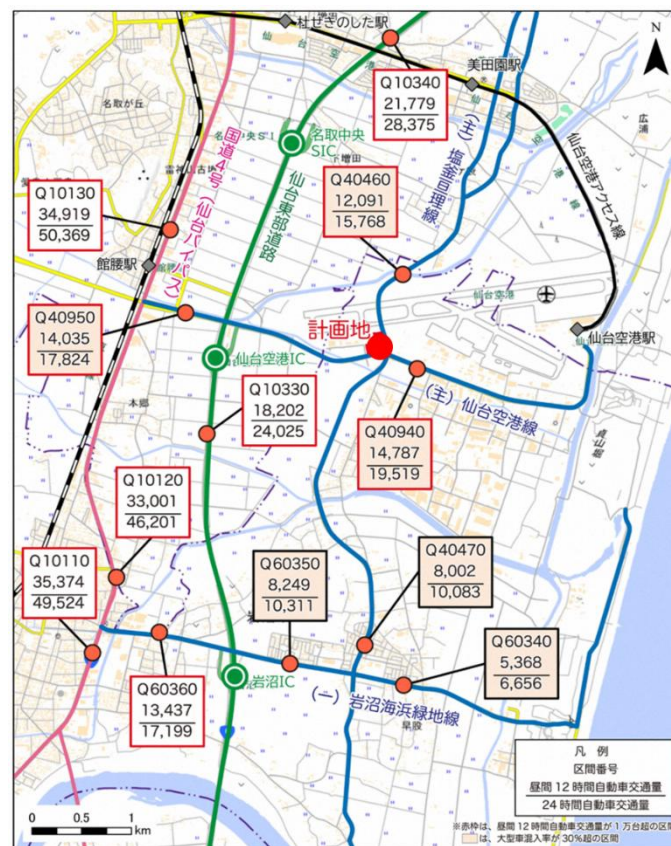
宮城県内における道の駅の前面交通量(H27交通量 降順)

No	道の駅	供用年	前面道路	H27交通量 (大型車)
1	三本木	H7	国道4号	40,328 (6,662)
2	東松島 (三陸自動車道上り線 矢本PA直結)	R6	三陸自動車道上り線	36,341 (12,103)
3	おおさき	R1	国道108号	21,671 (1,483)
4	計画地	-	県道20号	19,519 (6,827)
5	上品の郷	H16	国道45号	16,879 (2,752)
6	大谷海岸	H8	国道45号	14,147 (3,011)
7	おおさと	H8	県道9号	14,022 (2,671)
8	あ・ら・伊達な道の駅	H12	国道47号	13,511 (2,859)
9	(仮称)しろいし	R9 予定	国道4号	12,869 (5,493)
10	林林館	H15	国道346号	11,089 (2,512)

出典:国土交通省「空港管理状況 暦年・年度別空港管理状況調査」

注) 最新の令和3年のデータは、新型コロナウイルス感染症の影響により交通量が全体的に落ち込んでいる可能性が高く、コロナ禍以前の水準である平成27年のデータの方が現在の実勢交通量に近いと判断し、平成27年の数値を参照している。

計画地周辺の交通量



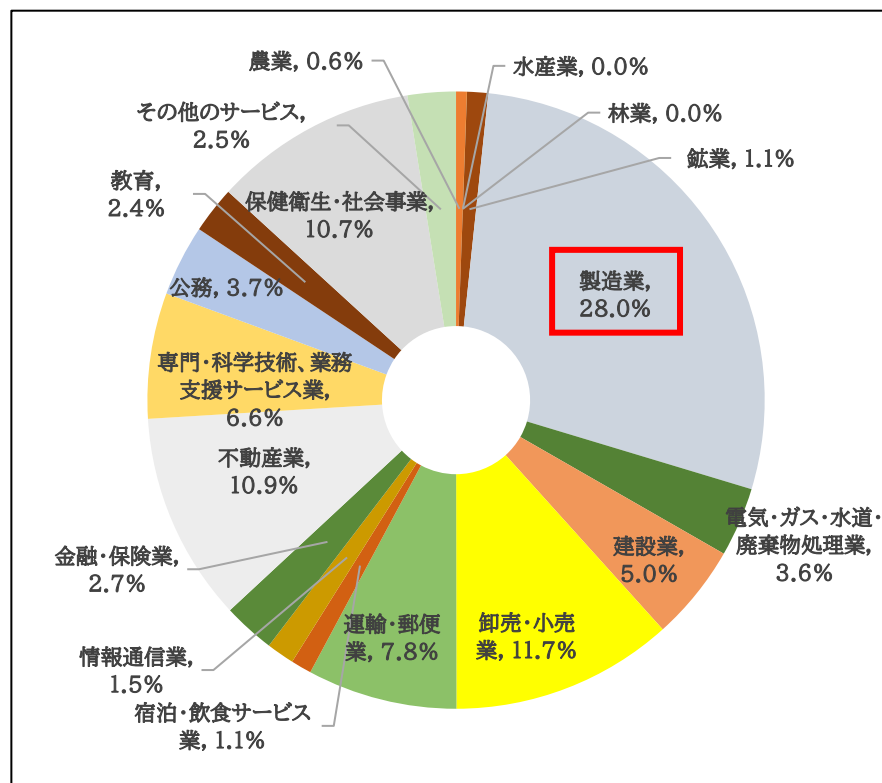
出典:国土交通省 道路局「各年度 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査 箇所別基本表」

計画地の概要

計画地周辺の特徴③

岩沼市は、**製造業を中心とした産業都市**。製造業の割合は市全体の28%を占め、近年、製造業のなかでも、**地域に根差した加工品産業**に注目が集まっています。

岩沼市における産業大分類



出典：令和5年度「宮城県市町村民経済計算」

岩沼市の加工品(例)



株式会社にしき食品のレトルトカレー



株式会社利久の牛たん

出典：岩沼観光パンフレット2025

基本コンセプト

基本コンセプト

空のゲートウェイを生かした
新たな「いわぬま」の魅力を創造・発信する
広域交流拠点

▼施設整備運営方針

方針①

東北の魅力を発信する
東北周遊コンシェルジュ

方針②

空港を体感する
スカイパーク & フードテラス

方針③

ものづくりを身近に感じる・体験する
ものづくりラボ

+

地域の防災機能を補完する
フェーズフリー防災機能

(導入機能のイメージ)

観光案内・情報発信施設

文化体験施設

屋内テラス

地産レストラン

産業ショールーム

地域特産物販売

…など

基本機能・連携機能、事業スキーム(案)

■基本機能

コンセプトを実現するための基幹的な機能群

(整備・運営費用を官民で分担し、
民間が整備・運営を実施することを想定)

基本機能(例)	
観光案内・ 情報発信施設	地産レストラン
文化体験施設	地域特産物販売所
屋内テラス	産業ショールーム

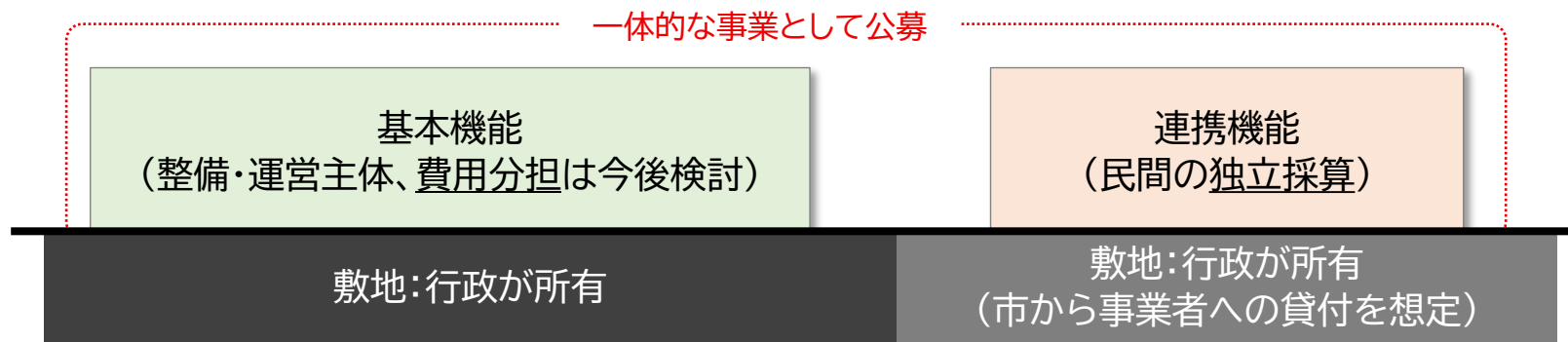
■連携機能

基本機能と連携して付加価値を創出する機能群

(行政が民間に土地を貸付、民間が独立採算で
整備・運営を実施することを想定)

連携機能(例)
宿泊施設 (ホテルなど)
温浴施設
屋内遊戯施設
産業体験施設

事業スキーム(案)



施設配置のイメージ(案)

施設配置(ゾーニング)の考え方

コンセプト実現に向けて、導入機能を「基本機能」・「連携機能」・「インフラ機能」に分類。
「基本機能」・「連携機能」を北側(滑走路側)に配置し、滑走路の眺望を最大限活用。

導入機能の分類

- ・ 基本機能 … コンセプトを実現するための基幹的な機能群
- ・ 連携機能 … 基本機能と連携して、さらなる利便性の向上や商業的な付加価値を創出する機能群
- ・ インフラ機能 … 基本機能と連携機能を支える機能群

機能群(ゾーン)の整理

【基本機能群ゾーン】(約1.0ha)

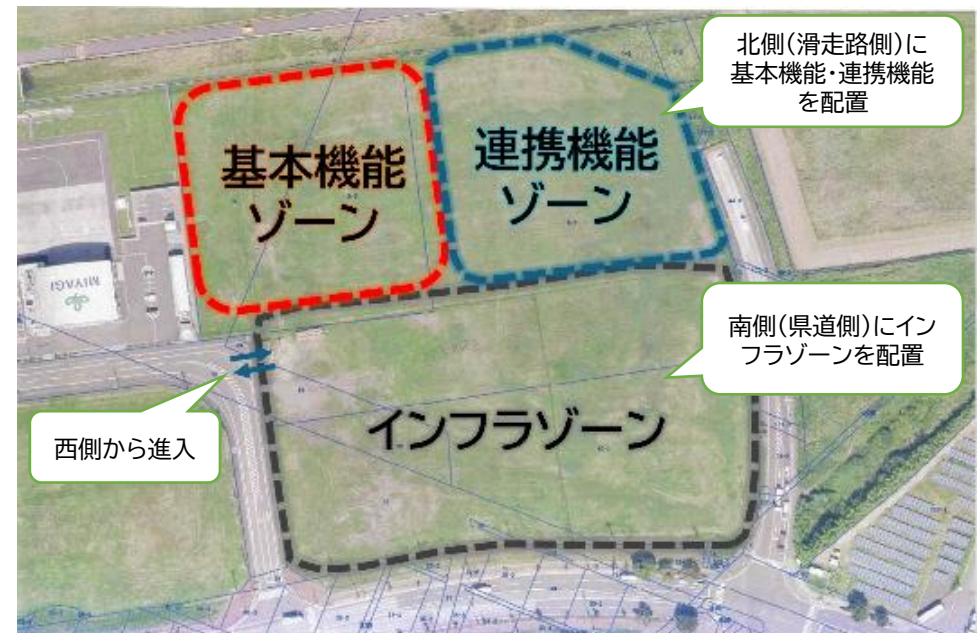
観光案内・情報発信施設、文化体験施設、
屋内テラス、地産レストラン、
産業ショールーム、地域特産物販売所、
管理事務所、附属施設、屋外広場 など

【連携機能群ゾーン】(約1.0ha)

宿泊施設、温浴施設、屋内遊戯施設、
産業体験施設などを想定

【インフラ機能群ゾーン】(約2.5ha)

駐車場、トイレ、ターミナル(イベント広場)など



事業スケジュール(案)

今後の流れ

令和13年度の供用開始に向け、「導入機能の精査」や「官民の役割分担の検討」など、事業条件の具体化を進めていきます。（※現時点の想定のため、今後スケジュール変更の可能性あり）

段階	令和8年 (2026年)度	令和9年 (2027年)度	令和10年 (2028年)度	令和11年 (2029年)度	令和12年 (2030年)度	令和13年 (2031年)度
基本計画	①					
導入可能性 調査		②				
公募		③				
事業者との 契約締結後				④		供用 開始

①基本計画

- ・計画地周辺の現状分析
- ・基本コンセプト
- ・導入機能の整理

②導入可能性調査

- ・導入機能の精査
- ・官民の役割分担
- ・事業スキームの検討

③公募

- ・事業条件の確定
- ・事業者公募
- ・契約締結

④事業者との 契約締結後

- ・設計
- ・建設
- ・開業準備

事業条件について

本資料に掲載した事業条件は、アンケートの実施を目的として設定しています。

現時点において決定しているものではなく、事業者の皆様からいただいたご意見・アイデアを基に詳細な検討を重ねていくこととしています。